



2025年11月14日

各 位

会社名 相模ゴム工業株式会社
代表者名 代表取締役社長 大跡賢介
(コード番号 5194 東証スタンダード市場)
問合せ先 専務取締役 吉田邦夫
(TEL. 046-221-2311)

2026年3月期 第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異 及び営業外費用（為替差損）計上に関するお知らせ

2026年3月期第2四半期連結会計期間での営業外費用（為替差損）の計上及び2025年5月19日に公表しました2026年3月期第2四半期（中間期）（2025年4月1日～2025年9月30日）の連結業績予想値と実績値に差異が生じましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上額

2026年3月期第2四半期連結会計期間において、外国為替相場の変動に伴い、為替差損128百万円を営業外費用として計上いたしました。この為替差損の変動は、主に当社及び在外連結子会社の外貨建資産及び負債を期末為替レートで評価したことによるものであります。

2. 2026年3月期第2四半期（中間期）連結業績予想値と実績値との差異（2025年4月1日～2025年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する中間純利益	1株当たり中間純利益
前回発表予想(A)	百万円 3,050	百万円 120	百万円 70	百万円 25	円銭 2.30
今回実績値(B)	3,120	161	△14	△126	△11.64
増減額(B-A)	70	41	△84	△151	—
増減率(%)	2.3	34.3	△121.1	△605.6	—
(ご参考)前期中間実績 (2025年3月期中間)	3,024	38	538	390	35.93

3. 差異の理由

2026年3月期中間連結会計期間の業績につきましては、ラテックス製コンドームの販売価格改定やポリウレタン製コンドームの販路拡大により、売上高、営業利益とともに予想を上回る結果となりました。一方で、為替変動の影響による為替差損128百万円を計上したことにより利益が圧迫され、経常損失及び親会社株主に帰属する中間純損失を計上し、予想を大きく下回る結果となりました。

4. 今後の見通し

2026年3月期の通期連結業績予想につきましては、為替相場の動向やさまざまな要因を含めて、適正かつ合理的に算定することができ次第、修正を公表いたします。

以上